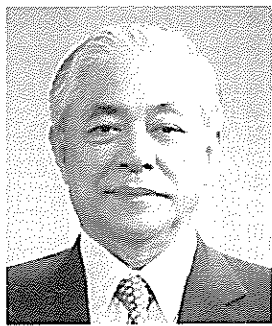


同窓会便り

西澤メダルの創設をお祝いして

IEEIE Sendai Section Vice Chair, 電気通信研究所 水野 皓司

発行
東北大学・電気・通信・電子・情報同窓会
仙台市青葉区荒巻字青葉05
東北大学工学部電気系学科内
発行責任者
西澤 潤一
(題字 西澤潤一会長)



西澤先生の学風は、基礎から応用を、またその逆に応用から基礎を展開するという、東北大学電気・情報系の基礎を創られた八木先生（支那）として、後輩の指導・育成にも務めておられます。

IEEIEは、本会会長西澤潤一先生のご業績をたたえ、それを記念するためにメダル（西澤賞、IEEIE Jun-ichi Nishizawa Medal）を創設しました。このメダルは、材料・デバイス科学およびその応用の分野で顕著な業績を挙げた研究者あるいはチームに授与されるものです。

IEEIE (The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.) は、我が国では、米国家電気電子学会と訳され、よく知られているようにエレクトロニクス・情報の分野における世界最大の、またもともと権威ある学会です。IEEIEそのものの創設は、一八八四年にさかのぼり、その活動は世界の一五〇ヶ国以上を含むまさしく世界的なもので、現在会員数は三十七万五千人以上に上ります。活動の単位は、分野では Society、また地域では Section (支那) に分かれていますが、西澤先生は、現在 Sendai Section の Chair (支那部長) として、後輩の指導・育成にも務めておられます。

関係をもとに整理してみました。先生は、一九六九年に IEEIE Fellow、一九八三年には Jack A. Morton Award、二〇〇〇年には Edison Medal を贈られています。これは、光通信、完全結晶成長技術、静電誘導トラランジスタ、また各種の電力用デバイス等々の発明に対して与えられたものです。光通信に関しては、片平町に「光通信発祥の地」との碑が建てられているのをご存じの方も多いでしょう。一九九一年十一月号の IEEIE Spectrum (IEEIEの全会員に配布されるジャーナル) は、「革新をもたらす才能」というタイトルの特集号で、世界中から選ばれた八人の著名な科学者の考え方が紹介されているのですが、その八人のなかにノーベル賞受賞者とともに、「日本の異端児」として西澤先生が紹介され、インタビュ記事が掲載されています。

IEEIEには現在業績表彰のために十五のメダルが設けられていますが、日本人の名前を冠したものは Jun-ichi Nishizawa Medal のみです。また、これらのメダルは永久に残るものと十年期限のものに分かれているのですが、西澤メダルは永久に残るもので、二〇〇四年より毎年授与される予定です。受賞者には金のメダルと賞金が贈られます。なお、IEEIEには各種の Award もあるのですが、Medal は Award よりも上のランクに位置しています。

このような画期的なことが、私達の先輩の業績をたたえるためになされたことは、私たちにとって大きな名誉、誇りであり、西澤先生に心よりご祝福また感謝を申しあげます。おめでとーごさいます。

西澤メダル創設と

勲一等瑞宝章受章を祝して

電気情報系運営委員長 犬竹 正明

西澤潤一先生におかれましては、平成十四年七月の「西澤メダルの創設」と共に、十一月秋の叙勲で、「勲一等瑞宝章受章」の榮譽に輝かれました。この二重の榮譽は、私達後輩一同の誇りであり、電気情報系の教職員・大学院生・学部生一同に代わり、心よりお祝いを申し上げます。

西澤先生のご活躍は、半導体工学・電子工学における研究面にとどまらず、教育分野や社会活動など多岐にわたっています。西澤メダルの創設の経緯と研究面におけるご業績については、電気通信研究所の水野教授から詳しいご紹介がされていますので、ここでは、先生の教育分野や社会活動におけるご貢献について、その一端をご紹介させて頂きます。別表にみられますように、西澤先生は東北大学においては二度の電気通信研究所の所長を務められ、その後、大学総長として大学院情報科学研究科の設置をはじめ、数多くの研究科、研究所、研究センター等の拡充改組等を主導されました。現在は岩手県立大学学長としてご活躍です。さらには、学会活動、行政運営、社会活動などにも積極的に関わり、ご尽力頂いています。

西澤先生の研究業績および教育や社会活動における貢献は白眉であり、西澤メダルの創設にともなう、勲一等瑞宝章の受章に結実したものと拝察致します。

一同心よりお祝いを申し上げますと共に、先生の益々のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

西澤潤一先生のご略歴

大正十五(一九二六)年九月 仙台市生まれ
昭和二十三年三月 東北大学工学部電気工学科卒業
昭和二十三年四月〜昭和二十八年 東北大学大学院特別研究生

- 昭和二十八年四月 東北大学助手(電気通信研究所)
- 昭和二十九年五月 東北大学助教(電気通信研究所)
- 昭和三十五年三月 工学博士
- 昭和三十七年十二月 東北大学教授(電気通信研究所)
- 昭和四十三年 (財)半導体研究振興会 半導体研究所所長
- 昭和五十八年四月〜昭和六十一年三月 東北大学電気通信研究所所長
- 昭和六十二年〜昭和六十三年 電子情報通信学会会長
- 平成元年四月〜平成二年三月 東北大学電気通信研究所所長
- 平成元年(社)日中科学技術文化センター会長
- 平成二年(社)レーザー学会理事
- 平成二年四月〜 東北大学名誉教授
- 平成二年十一月〜平成八年十一月 東北大学総長
- 平成九年四月〜 東北自治総合研修センター館長
- 平成九年九月〜 宮城大学名誉学長
- 平成十年四月〜 岩手県立大学学長
- 平成十一年 東北インテリジェント・コスモス構想推進協議会会長
- 平成十二年六月(社) 日本原子力産業会議会長
- 平成十四年五月(社) 日本工学アカデミー会長
- 昭和四十九年 日本学士院賞
- 昭和五十八年 文化功労者
- 昭和五十八年 ジャック・A・モートン賞
- 昭和六十一年 木田賞
- 昭和六十三年 ロシア科学アカデミー外国人会員
- 平成元年 LOGGロディス賞
- 平成元年 文化勲章
- 平成六年 ポーランド科学アカデミー外国人会員
- 平成七年 日本学士院会員
- 平成八年 韓国科学技術アカデミー名誉外国人会員
- 平成十二年 2000 IEEIE EDISON MEDAL
- 平成十四年 勲一等瑞宝章
- 平成十四年 ユーゴスラビア工学アカデミー外国人会員
- 平成十四年 IEEIE西澤メダル創設決定